



ビジネス レポート 2024

2023年4月1日



2024年3月31日



幼児活動研究会株式会社

株主の皆様へ



代表取締役社長

山下孝一

人を喜ばす
社風を確立する

山下孝一

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。2024年3月31日をもって、第52期(2023年4月1日～2024年3月31日)を終了致しましたので、一言ご挨拶申し上げます。

第52期は、「人を喜ばす」の経営で全社員のベクトルを合わせ前進することができました。課外クラブ員数は前期に比べ減少したものの、イベント企画業務の売上増加により過去最高となりました。

このような事業環境を背景に、課外クラブ会員数は67,702人、正課体育指導契約会場数は1,253園、課外体育指導会場数は1,280園となり、売上高6,951百万円(前期比0.5%増)、経常利益1,387百万円(前期比7.0%減)、当期純利益965百万円(前期比10.6%減)となりました。なお当期の1株当たりの期末配当金は、前期より1円増配で23円とさせていただきます。

日本はこれまで経験したことのない超少子化です。お客さまにとっても我が社にとっても大変厳しい環境ですが、しかし同時に本物が求められる発

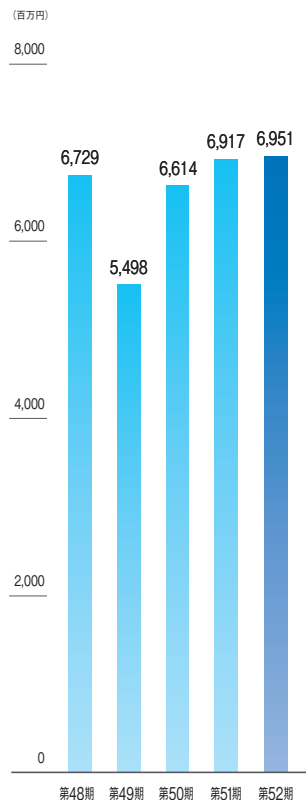
展の大チャンスです。今こそ私たちの出番です。日本で一番幼稚園・保育園・こども園の情報を持っている我が社です。第53期は、一番に選ばれる会社になり、また必要とされ役に立つ会社になるために、お客さまの要望にどこよりも多く応えられる満足最大不満最小の会社になります。そして、お客さまの期待を上回る感動を与える一流のプロ集団になります。

具体的には、契約園の園児減少に歯止めをかけるためコンサルティング事業に力を入れ、サポート体制の強化、コロナ禍ではできなかった営業に再度注力し新規の顧客獲得に努めてまいります。また今後、全ての幼稚園・保育園・こども園は療育支援が必要なお子さまを受け入れる時代になると考えております。我が社は全てのお子さまに対して教育格差をなくし、持続可能な社会をつくっていくために必要な知識・技術を身に着けるプロになります。私たちの努力で将来を良くします。

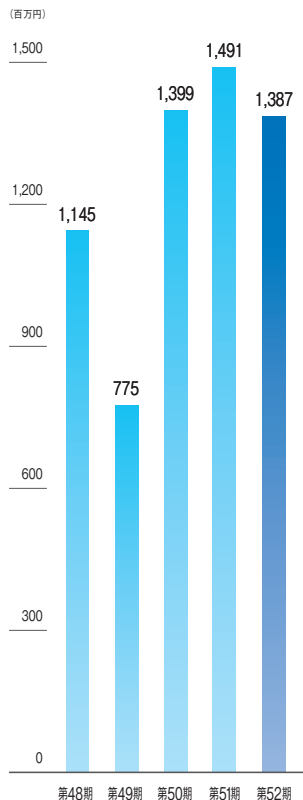
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

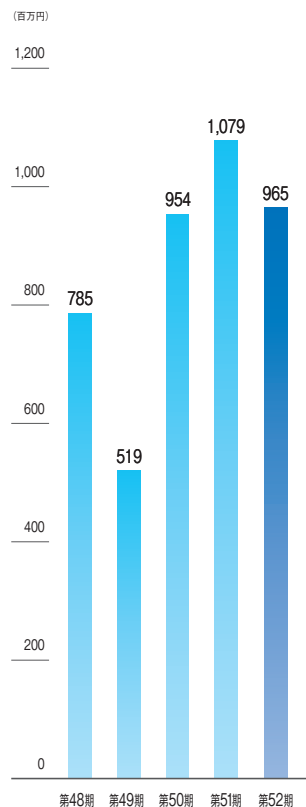
売上高



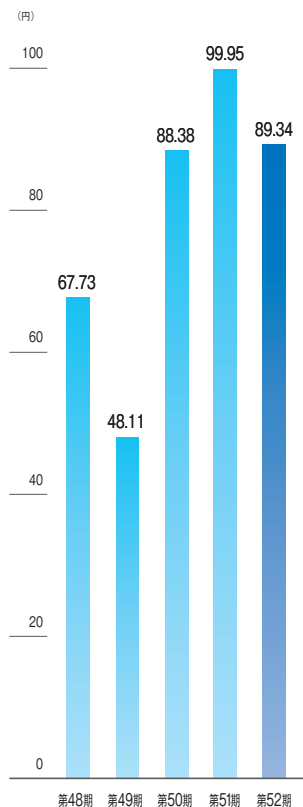
経常利益



当期純利益



1株当たり当期純利益



事業の概要

幼児活動研究会株式会社は、正課体育指導をはじめとする幼児体育指導関連事業と、コンサルティング関連事業を手掛けております。



当社の強み

当社が形成づける参入障壁は、次のような要素によって構成されております。

顧客との信頼関係

1

- 大事な子供を預かるという幼稚園・保育園・こども園のもつ役割
- 何より重視されるのは安全性
- これらに配慮したアプローチが重要

資産の有効活用

2

- 信頼関係がもたらす付帯設備の共有というメリット（課外体育指導）
- 資産の維持・管理コスト軽減、業務効率の向上・財務健全性に寄与

市場のもつ特有性

3

- 合理性より社会性を重んじる業界
- 利益追求型でなく高い公衆道徳性に沿った選択肢が取られる傾向

幼児体育指導関連事業

■ 正課体育指導

園の方針に合わせさらなる園発展を願って

当社の創業の原点である正課体育指導では、従業員が体操の先生として幼稚園・保育園・こども園に赴き、保育時間内（正課）に行われる体育の授業を受けもちます。園を特色づけるカリキュラムは、保護者が園を選別する際の重要なポイントになります。



■ 課外体育指導

子供の可能性を引き出し伸ばす

保育時間終了後（課外）に園の施設を借用して、当社が展開するクラブは、子供の可能性を引き出し伸ばし育てる指導を行っています。失敗しても諦めない、乗り越えるという小さな成功体験を積み上げ、やればできる自信を育てます。



■ 療育事業

自立する人間の土台をつくる

当社が長い年月をかけ築き上げた実績と経験を、療育事業に展開しております。できないことに目を向けるのではなく「やりたい」と思ってもらい、主体的に取り組める環境を作ります。子供の「楽しい！」が「できた！」に繋がる指導をします。また、体操を通して子供の生活や感情の安定に繋がります。



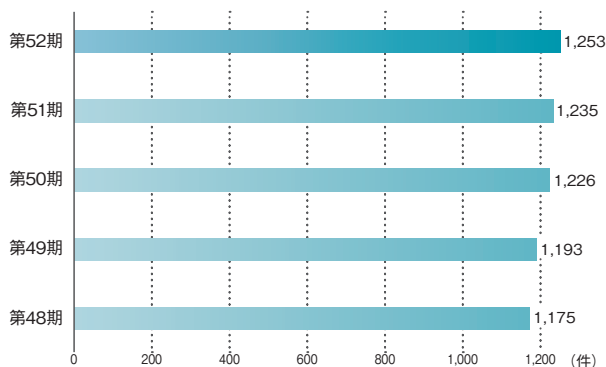
■ イベント企画

今まで経験したことのない感動、喜びを

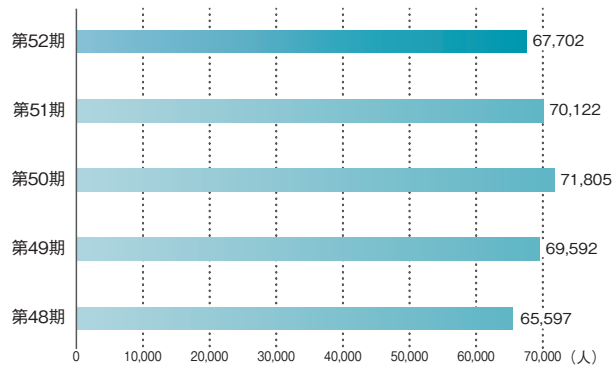
普段慣れ親しんだ園、親元を離れ、自然や外の世界に触れることで、子供たちの好奇心や感受性はますます研ぎ澄まされていきます。人格の基本を形成づけるこの時期に、自分でできることを主体的に取り組めるようサポートし、自発力や協調性を育みます。



■ 正課体育指導契約会場数(期末)



■ 課外クラブ会員数(期末)



コンサルティング関連事業

園の全面的サポートをし地域にとってなくてはならない園へ

社内で共有した情報を基に、園児募集、職員育成、後継者、採用等、お客さまの困りごとを数々のプラン、アドバイスを提供し解決します。園経営については、園発展の相談役になり、園の組織・仕組み作り、よき園風づくりに貢献し、園の全面的サポートをします。



会社概要・株式情報 (2024年3月31日現在)

■ 会社概要

会 社 名 幼児活動研究会株式会社
本 社 住 所 東京都品川区西五反田二丁目11番17号
設 立 昭和47年(1972年)9月
資 本 金 513,360,000円
代 表 者 代表取締役社長 山下孝一
従 業 員 数 555名
事 業 所 北海道、青森、山形、宮城、福島、栃木、群馬、新潟、
埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡、山梨、愛知、富山、
石川、福井、長野、京都、奈良、大阪、兵庫、和歌山、
広島、福岡、長崎、鹿児島、沖縄 他

■ 役員 (2024年6月25日現在)

代 表 取 締 役 山下 孝一
専 務 取 締 役 広田 照彰
取 締 役 川田 伸
取 締 役 久賀 満雄
取 締 役 山下 明子
取 締 役 八田 哲夫
取締役(社外) 大野 俊一
常 勤 監 査 役 川口 弘之
監査役(社外) 山崎 正俊
監査役(社外) 曲渕 博史

■ 株主メモ

事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月25日
株主確定基準日 3月31日
上 場 市 場 東京証券取引所 スタンダード
証 券 コー ド 2152
株式の売買単位 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本
(各)支店で行っております。

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
・「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の
規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、
その添付資料としてご使用いただくことができます。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。
公 告 方 法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電
子公告による公告をすることができない場合は、
日本経済新聞に掲載する方法により行います。

■ 株式の状況

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式総数 11,784,000株
(自己株式981,412株を含む)
株 主 総 数 1,392名

■ 大株主

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社山善	3,962,000	36.68
株式会社UH Partners 2	1,085,300	10.05
山下 明子	1,020,160	9.44
光通信株式会社	808,800	7.49
コスモ従業員持株会	601,674	5.57
山下 孝一	304,560	2.82
株式会社エスアイエル	263,700	2.44
アイザワ証券株式会社	208,000	1.93
東京中小企業投資育成株式会社	200,000	1.85
株式会社UH Partners 3	188,900	1.75

(注) 上記大株主の状況欄には、当社が保有する自己株式を除いております。
当社は、自己株式を981,412株所有しており、発行済株式総数に対す
る割合は8.33%であります。

必要とされ役に立つ会社になるために

人を喜ばす
一流の professional になる

5年ぶりに
全社員が集り復活再開

経営計画発表会

【社員研修】

今期の新規重要事業

【療育指導サポート事業】

療育クラブファミリア(戸越店)
療育クラブファミリア(五反田店)
療育サポート(千葉エリア・北九州エリア)

エリア拡大中!